

## 安全データシート

作成日 2021年 2月 2日

改訂日 2023年 2月 28日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	個人情報保護スタンプ ローラーケシポン箱用オープナー / ローラーケシポン箱用オープナー交換式
品番	IS-580CM / IS-590CM / IS-590CMR
コード	40-976 / 40-977 / 40-978 / 40-979 / 40-980 / 40-981 / 40-910 / 40-911 / 40-912 / 40-913 / 40-914 / 40-915
住所	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス12階
担当部門	CSR本部
緊急連絡電話番号	03-5860-8005
FAX番号	03-5860-8013
E-mail	env_psc@plus.co.jp
整理番号	G05B2815
推奨用途及び 使用上の制限	スタンプインキ

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 物理化学的危険性

引火性液体 : 区分4

## 健康に対する有害性

急性毒性（経口） : 区分に該当しない

急性毒性（経皮） : 区分に該当しない

急性毒性（吸入：気体） : 区分に該当しない

急性毒性（吸入：蒸気） : 区分に該当しない

急性毒性（吸入：粉じん、ミスト） : 区分に該当しない

皮膚腐食性・刺激性 : 分類できない

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2B

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 分類できない

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

生殖毒性・授乳に対する又は

授乳を介した影響

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） : 区分3（麻酔作用、気道刺激性）

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） : 分類できない

誤えん有害性 : 区分に該当しない

## 環境に対する有害性

水生環境急性有害性 : 分類できない

水生環境慢性有害性 : 分類できない

オゾン層への有害性 : 分類できない

### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

警告

危険有害性情報

可燃性液体

眼刺激

眠気またはめまいのおそれ

呼吸器への刺激の恐れ

注意書き

#### 【安全対策】

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

取扱い後は手を良く洗うこと。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

#### 【応急措置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

火災の場合：消火に泡、粉末、二酸化炭素を使用すること。

#### 【保管】

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

#### 【廃棄】

内容物/容器を法令で指定された処理業者にて廃棄すること。

特有の危険有害性

消防法 第4類第3石油類非水溶性液体

---

### 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : ジプロピレングリコールモノメチルエーテルとカーボンブラックを

## 主成分とする混合物

## 成分及び含有量

成分名	CAS No.	含有量 (wt%)	官報公示整理番号	PRTR 法
ジプロピレングリコールモノメチル エーテル (DPGME)	34590-94-8	70-75	2-426 7-97	-
カーボンブラック	1333-86-4	9-11	5-3328	-
バインダー樹脂	-	16-18	-	-

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : ただちに新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、必要に応じ医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水及び石鹼で洗い落とす。  
水痘痛みなどの症状がでた場合には、必要に応じ医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。  
医師の手当て、診断を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。  
医師の手当て、診断を受けること。  
無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡、粉末、二酸化炭素、噴霧水が有効である。
- 使ってはならない消火剤 : 棒状の水
- 火災時特有の危険有害性 : 火災によっては、刺激性、毒性のガスを発生させるおそれがある。
- 特有の消火方法 : 引火点が低いので消火の効果がない場合は散水する。  
消火作業は風上から行う。  
周辺の設定に散水して冷却する。
- 消火活動を行う者の特別な  
保護具及び予防措置 : 適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合処理が終わるまで必要に応じ換気を行う。  
漏出した場合は周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
こぼれた場所は滑りやすいので注意する。  
作業に際しては保護具（「8. 曝露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。
- 環境に対する注意事項  
封じ込め及び浄化の  
方法・機材 : 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。  
漏れた液やこぼれた液を密閉式の容器にできる限り集める。  
少量の場合は、吸収剤（おがくず・土・砂・ウエスなど）で吸着させ取り除いた後、  
残りをウエス、雑巾でよく拭き取る。  
大量の場合は、土砂など（の不燃物）で囲って流出を防止し、スコップまたは  
吸引機などで空容器に回収する。  
用いる全ての設備は接地する。
- 二次災害の防止策 : すべての発火原を速やかに取り除く。（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流出を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策 : 「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項 : 火気注意。  
 接触、吸入又は飲み込まないこと。  
 目との接触を避ける。  
 ミスト、蒸気を吸入しないこと。  
 取扱い後は良く手を洗うこと。

接触回避 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策 : 取扱い後は良く洗うこと。

### 保管

技術的対策 : 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

混触危険物質 : 「10. 安定性及び反応性」を参照。

適切な保管条件 : 酸化剤から離して保管すること。換気の良い湯所で保管すること。

安全な容器包装材料 : 金属製の石油缶やポリエチレン、ポリプロピレン製容器。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : ACGIH (2013年版) 設定されていない。  
 日本産業衛生学会 (2019年版) 設定されていない。

設備対策 : 屋内作業所での使用の場合は発生源の密閉化または局所排気装置を設置することが望ましい。取扱い場所の近くにシャワー、手洗い、洗眼設備を設け、位置を明瞭に表示する。

### 保護具

呼吸器の保護具 : 状況に応じ、有機溶剤用マスクを使用。

手の保護具 : 不浸透性保護手袋

眼、顔面の保護具 : 側板付保護眼鏡 (必要によりゴーグル型又は全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具 : 帯電防止性能を有する、長袖の保護衣及び安全靴

特別な注意事項 : 情報なし

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状態 : 液体

色 : 黒色

臭い : 特徴的な臭気

融点/凝固点 : データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲 : 189°C以上

可燃性 : あり

爆発下限界及び上限界、 : 下限 1.1vol% 上限 10.9vol%

可燃限界	
引火点	: 75°C (密閉式)、85°C (開放式)
自然発火点	: 270°C
分解温度	: データなし
pH	: 非該当
動粘性率	: 粘度 400-800mPas・s (20°C)
溶解度	: 水に不溶、低級アルコール、グリコールエーテルに可溶
n-オクタノール、	: データなし
水分配係数	
蒸気圧	: DPGME 53.2Pa (25°C)
密度及び/又は相対密度	: 約 1.0
相対ガス密度 (空気 = 1)	: 非該当
粒子特性	: 液体のため非該当
その他のデータ	: データなし

---

#### 10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取扱い条件下では反応しない。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件下では安定である。
危険有害反応可能性	: 強酸、強塩基、強酸化剤と反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	: 高温
混触危険物質	: 強酸化剤、酸塩塩基
危険有害な分解生成物	: 燃焼により二酸化炭素及び一酸化炭素を生成する可能性。

---

#### 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: LD50 ラット 15400mg/kg (カーボンブラック) ラット 5400mg/kg (DPGME)
急性毒性 (経皮)	: LD50 ウサギ 9500mg/kg (DPGME)
急性毒性 (吸入)	: LD50 データなし
皮膚腐食性・刺激性	: ウサギの皮膚に塗布した試験で DPGME は刺激性が認められない。
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	: DPGME はウサギの眼に適用した試験において軽度な角膜刺激性が認められた。 (区分 2B)
呼吸器感受性	: データなし (分類できない)
皮膚感受性	: データなし (分類できない)
生殖細胞変異原性	: データ不足 (分類できない)
発がん性	: カーボンブラックは IARC のクラス 2B に分類されるが、印刷インクなどの混合物として IARC のクラス 3 (ヒトに対する発がん性が分類できない) に分類されることから、分類できないとした。
生殖毒性	: データなし (分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし (分類できない)

特定標的臓器毒性 : データなし (分類できない)  
 (反復ばく露)  
 誤えん有害性 : 高粘度のため区分に該当しない。

## 12. 環境影響情報

製品の環境影響情報 : データなし  
 成分の環境影響情報  
 水生環境有害性 短期 : データなし  
 (急性)  
 -生体毒性  
 -残留性・分解性  
 -生体蓄積性  
 -土壌中の移動性  
 水生環境有害性 長期 : データなし  
 (慢性)  
 -生体毒性  
 -残留性・分解性  
 -生体蓄積性  
 -土壌中の移動性  
 オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の附属書に列記されていないため、分類できないとした。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。  
 汚染容器・包装 : 容器を洗浄してリサイクルするか、廃棄する場合は、内容物をできるだけ除去後に処分する。  
 これを含む排水は活性汚泥等の処理により清浄にしてからでないと排出してはならない。  
 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

## 国際規制

陸上輸送 (ADR/RID の規定に従う) : 区分に該当しない  
 海上輸送 (IMO の規定に従う) : 区分に該当しない  
 航空輸送 (ICAO/IATA の規定に従う) : 区分に該当しない

## 国内規制

陸上規制情報 : 消防法の規定に従う  
 海上規制情報 : 該当しない  
 海洋汚染物質 : 該当しない  
 航空規制情報 : 該当しない  
 輸送又は輸送手段に対する特別な安全対策 : 輸送に際しては、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

---

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	: ラベル表示及び名称等を通知すべき危険物及び有害物 ジプロピレングリコールモノメチルエーテル (DPGME) カーボンブラック
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	: 該当しない
消防法	: 第 4 類第 3 石油類 (非水溶性) 危険等級Ⅲ
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない

---

## 16. その他の情報

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としたものなので、これらを参考にし、自らの責任において用途、用法に適した安全対策・適切な処置の実施をお願い致します。

※本書式は、JIS Z7253 : 2019 要求事項に準じて作成しております。